

提言書

多様性社会の推進について

～（仮称）浜田市人権尊重のまちづくり条例に対する提言～

令和4年11月

浜田市議会 総務文教委員会

1 はじめに

浜田市では、令和2年度に「人権問題に関する市民意識調査」を実施して市民の人権意識の現状を調査し、「浜田市人権教育・啓発推進基本計画（第4次）」を策定されました。この計画に基づき、あらゆる機会を通じて人権教育・啓発に取り組み、市民が安心して暮らせる「人権尊重のまちづくり」を推進してこられました。依然として様々な人権問題が存在し、急速な社会変化によって新たな人権問題も生じています。

このような状況を踏まえ、本委員会は、令和4年1月に、取組課題のテーマを「多様性社会の推進について」に決定し、3月には執行部に人権問題の現状や取組状況をヒアリングするとともに、改定された「浜田市人権教育・啓発推進基本計画（第4次）」及び「浜田市男女共同参画推進計画（第4次）」の解説を受けました。

その後、新たに制定される（仮称）浜田市人権尊重のまちづくり条例に対して提言することとし、他の自治体が制定している人権条例の中から特徴的なものを抽出・分析することにより、本市の条例において大切にしていきたい視点や記載していただきたい内容について意見交換を重ねてきました。

その協議結果を次のとおり取りまとめたので提言します。提言内容について十分配慮を願うとともに、本市における多様性社会の実現に向けた取組が一層推進されることを望みます。

2 提言

(1) 現在の社会的背景について

人権問題は自分ごとであるという認識を市民が持てるように、国際化や情報化といった社会の急速な変化によって顕在化している新たな問題については、具体的な事例（インターネット上での誹謗中傷、地方社会における外国人の受入れ等）とともに、それによって引き起こされている問題（ハラスメント、傷つける等）について明記されたい。

(2) 浜田らしさの表現方法について

基本的事項を記すに留めず、目指す社会像として本市が掲げる「協働のまちづくり」にも触れながら、意識の醸成や人権課題の解決に向けた考え方を示すとともに、市民に対する訴求力を持った表現方法を検討されたい。

また、本市の歴史において、地域外との交流は極めて重要な点である。その文脈と昨今の社会情勢を重ねながら、「多様性」という言葉を用いて浜田市らしさを表現されたい。

(3) 市民の意識の持ち方について

自らの権利を行使する際には、社会の構成員としての責任を自覚し、常に他者の人権についても尊重するよう、「権利」と「責任」について併記されたい。

(4) 相談体制のあり方について

救済の観点から、安心して相談できるセーフティネットが必須と考える。相談過程における市の役割を整理するとともに、適切な相談体制を構築し、その充実を図ることについて明記されたい。

(5) 教育・啓発活動の促進について

急速な社会変化によって課題も多様化し、人権意識の向上は一層求められている。これまでの歴史や文化的な背景を踏まえて、学校教育や社会教育等のあらゆる手段で教育・啓発活動を実施・強化していくことを明記されたい。

また、あらゆる人への理解促進が図られるよう、わかりやすい条例の表現方法についても工夫されたい。(条例の補助資料として、児童・生徒や外国人等に向けたハンドブックを製作するなどの対応も検討されたい。)

(6) 審議会の役割について

審議会については、人権施策に関する重要事項等の調査・審議に加え、本条例の趣旨がいかされるように、関連する行動計画及びその進捗状況を評価・検証する機能を有することについても明記されたい。

なお、このことについて検討する際に、本条例に基づいた活動を推進するための関連する行動計画のあり方についても取り上げられたい。

3 会議等の開催状況

令和3年

	日付	内 容
1	11月30日	取組課題のテーマについて各委員から提案
2	12月16日	取組課題のテーマについて各委員から提案

令和4年

	日付	内 容
3	1月17日	取組課題のテーマを「ダイバーシティの推進について」に決定
4	1月26日	今後の進め方について協議（市の現状を把握する）
5	3月23日	浜田市を取組状況、「人権教育・啓発推進基本計画（第4次）」及び「男女共同参画推進計画（第4次）」について（執行部へのヒアリング） 取組課題のテーマを「多様性社会の推進について」に変更
6	4月20日	ヒアリングの感想と今後の進め方について協議
7	6月15日	今後の進め方について協議（調査方法の検討）
8	9月1日	今後の進め方について協議（他の自治体の条例を調査する）
9	9月9日	他の自治体の条例を集めて協議
10	9月28日	他の自治体の条例を踏まえ、浜田市の人権条例に盛り込むべき事項等について協議
11	10月31日	提言案の検討
12	11月4日	提言案の検討、決定

総務文教委員会

委員長	永見	利久
副委員長	三浦	大紀
委員	肥後	孝俊
委員	大谷	学
委員	芦谷	英夫
委員	佐々木	豊治
委員	西田	清久